

令和2年度スポーツ庁委託事業
Specialプロジェクト2020
Specialプロジェクト2020(Specialプロジェクト2020全国的な祭典の実施事業)

スポーツオブハート2020in大分
委託事業成果報告書

本報告書は、スポーツ庁の「Specialプロジェクト(Specialプロジェクト2020全国的な祭典の実施事業)」委託事業として、《一般社団法人スポーツオブハート》が実施した令和2年度《スポーツオブハート2020in大分》の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

目次

1.はじめに	3
2.事業の目的	4
3.実施日程および会場	5
4.事業の実施体制	6
5.特別支援学校への参加募集告知	7
6.実施報告	8
7.事業の成果と課題	11
8.今後の方向性について	13

1.はじめに

2012年に始まった、障がい者のある人もない人もみんなで楽しみ、優しい心を育むイベント「スポーツ・オブ・ハート」もお陰様で9回目の開催となり、皆様のあたたかいご支援に、心から感謝申し上げる次第でございます。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により大規模イベントの開催が不確実な状況と、今まで支えていただいている協賛企業やアーティスト・アスリートの方々も大きな損害を被っている状況の中、今期の開催について検討を重ねてきました。

結果、SOHIは延期とし大分につきましては延期となった東京オリンピック・パラリンピックに向けたさらなる機運の醸成とその後のレガシーを生かして、より一層、障害者スポーツ振興やノーマライゼーションの推進、市民参加の促進を図っていくことが共催者の大分市にとって重要ということより、火を絶やさずに継続していく結論となり2020年11月7日(土)に、大分駅周辺で規模を縮小し、「スポーツ・オブ・ハート2020 in大分」を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症で大変な状況ではありますが、こんな状況の中、開催に向けてご協力いただいた企業さま、アスリート・アーティストの方々、参加頂いたゲストやボランティアの方に心より感謝を申し上げます。

2.事業の目的

- ① 特別支援学校に通学する児童・生徒が、健常者と一緒に楽しめるスポーツと音楽と文化の祭典を通して、障がい者スポーツ等を知って頂き東京パラリンピックを身近に感じ、意欲的に日々の体育学習に取り組めることを目指します。
- ② スポーツおよび芸術活動のプログラムを用意し、特別支援学校に通学する児童・生徒が、健常者の方との交流を通し自分の個性を活かした生きがいを発見できることを目指します。
- ③ 特別支援学校に通学する児童・生徒と健常者の子供たちがスポーツや芸術を通し交流することにより、多くの方が障がいのある方たちをより理解し、開催地域でその方達が楽しめる環境の整備の促進に繋がっていくこと。
- ④ 本イベントを通して特別支援学校に通学する児童・生徒が、社会に参加するきっかけとなること。

4.事業の実施体制

一般社団法人スポーツオブハート

スポーツ・オブ・ハート2020 in 大分 実行委員会

No.	会社・団体名	役職	委員	役職	顧問
1	有限会社中島石油	代表取締役	鎌田 記生	実行委員会副会長	
2	有限会社中村設備工業	専務取締役	田口 昇	監事	
3	株式会社J-MIXMODEL AGENCY	代表取締役	仲道 由紀子		
4	株式会社RenoHouse	代表取締役	岡部 俊示		
5	天然素材株式会社	代表取締役	山中 浩		
6	一般社団法人大分県介護福祉士会	会長	田中 努		
7	大分県車椅子バスケットボール連盟 九州車椅子バスケットボール連盟	会長	矢田 成昭	実行委員会会長	
8	大分県ポッチャ協会	会長	木谷 隆行		
9	大分市陸上競技協会	副会長	円本 宗秋		
10	大分市総合型クラブ連絡協議会	会長	森 慎一郎		
11	大分市身体障害者福祉協議会連合会	スポーツ部会 副部長	楢田 達良	監事	会長 衛藤 良恵
12	一般社団法人 大分市手をつなぐ育成会	理事長	齋藤 園芳		理事長 齋藤 園芳
13	公益社団法人 大分県精神保健福祉会		佐藤 いづみ		大分すみれ会 会長 川口 二美

スポーツ・オブ・ハート2020 in 大分 実行委員会事務局

No.	会社名		氏名	役職	
1	株式会社朝日広告社大分営業部	専任部長	猿渡 一彦	事務局長	
2	株式会社Fun	Editor	安部 浩二		
3	株式会社黒田建商	総務部課長	神田 大朗		

企画

スポーツ・オブ・ハートメンバーおよび大分実行委員会にて企画立案。過去開催の利点を活かして(スポーツ振興課・教育委員会)にて特別支援学校との連携を強化し、多くの参加者を募る内容で作成。

運営

スポーツ・オブ・ハート(東京)と大分実行委員会の共同で運営。主要コンテンツ・キャスティングは東京サイド、実施運営は大分実行委員会と地元ボランティアにて運営を行う。

コロナ対策

例年のない感染症対策を講じる。エビデンスをもとにした施策を行い安心・安全な運営を行う。医学的なエビデンスを用いた機器や手法を用いる。

広報

地元メディアと連携し、TVCM・新聞にて告知および当日の様子を取材。(テレビ大分、大分合同新聞協力)開催後はスポーツ・オブ・ハートホームページやSNSにて一斉拡散を予定。

本事業における各役割は実行委員会メンバーが企画・運営・コロナ対策・広報の各リーダーとなり推進し、他の実行委員会メンバー全員がそれをサポートする仕組みをとっている。よって全員が責任者であり、実働を伴う。

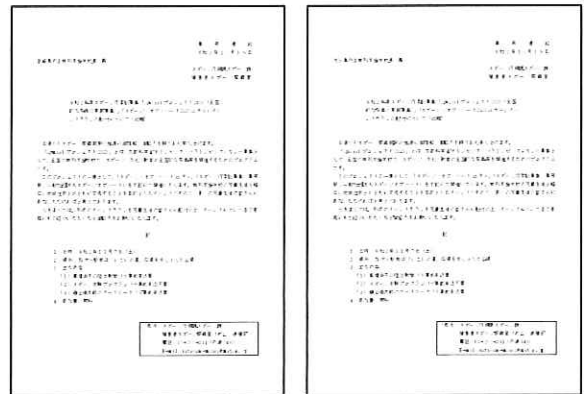
5.特別支援学校への参加募集告知

特別支援学校に通学する児童・生徒の参加促進のための“参加募集チラシ”を作成し、大分県と宮崎県の特別支援学校に事前配布を実施。



大分県・宮崎県
特別支援学校へ参加募集チラシ配布

大分県	17校
宮崎県	13校
合計	30校 4000部配布



参加募集チラシ配布の依頼文書

	大分県特別支援学校	宮崎県特別支援学校
1	大分県立盲学校	宮崎県立明星視覚支援学校
2	大分県立聾学校	宮崎県立都城さくら聴覚支援学校
3	大分県立別府支援学校	宮崎県立みやざき中央支援学校
4	大分県立別府支援学校鶴見校	宮崎県立赤江まつばら支援学校
5	大分県立別府支援学校石垣原校	宮崎県立みなみのかぜ支援学校
6	大分県立宇佐支援学校	宮崎県立日南くろしお支援学校
7	大分県立中津支援学校	宮崎県立都城きりしま支援学校
8	大分県立日出支援学校	宮崎県立日向ひまわり支援学校
9	大分県立南石垣支援学校	宮崎県立児湯るびなす支援学校
10	大分県立由布支援学校	宮崎県立清武せいりゅう支援学校
11	大分県立新生支援学校	宮崎県立延岡しろやま支援学校
12	大分県立大分支援学校	宮崎県立延岡しろやま支援高千穂校
13	大分県立臼杵支援学校	宮崎県立小林こすもす支援学校
14	大分県立佐伯支援学校	
15	大分県立竹田支援学校	
16	大分県立日田支援学校	
17	大分大学教育学部附属特別支援学校	

6. 実施報告 ① 体験プログラム

パラアスリート廣道純の車椅子レーサー体験

駅前広場



時間 10:00~16:00



時間 10:00~16:00

シドニー(800m銀)、アテネ(800m銅)、北京、ロンドン、パラリンピック4大会連続出場のプロ車いすアスリート。T53クラス400m、800mの日本記録を保持者の廣道純さんによる車椅子レーサー体験。スポーツオブハートの人気プログラムの一つ。今年も大好評でした。



参加者人数
約70名(障がいのある方約15名参加)

パラアスリート木谷隆行のポッチャ&モルック体験



ポッチャのリオパラリンピック銀メダリスト木谷隆行さんによるポッチャ&モルック体験。参加者には、現在のトップパラアスリートと対戦しながらテクニックや楽しさを体験してもらいました。誰でも参加しやすい競技ということで、障がいのある方の参加が特に多いプログラムとなりました。

時間 10:00~16:00

参加者人数
約50名(障がいのある方約15名参加)

パラアスリート城隆志のパラパワーリフティング体験

駅前広場



時間 10:00~16:00

地元大分県出身でパラ・パワーリフティングの日本記録保持者である城隆志選手による、パラ・パワーリフティングの体験。障がいのある人も無い人も年齢性別も関係なく参加でき、日本の一流選手のテクニックとパフォーマンスの凄さを体感してもらいました

参加者人数
約60名(障がいのある方約10名参加)

6. 実施報告 ② 体験プログラム

高橋尚子の陸上教室

C広場



シドニーオリンピック女子マラソン
金メダリストの高橋尚子さんによる陸上教室。
はやく走るためのポイントや、長く走るためのコツな
どを教えてください！
世界で活躍するトップランナーとふれあえる人気プ
ログラムです！

参加者人数
56名(内特別支援学校児童 8名参加)

時間 10:00～ 対象者 小学生以上

鎌谷徹太郎アートワークショップ

駅前広場



障がいのある人もない人も参加できるアートワークショップを開催します。本イベントのメインビジュアルを手がけた鎌谷徹太郎さんを講師にお迎えして、ワークショップの他に、作品展示等も行ないます。

鎌谷徹太郎プロフィール
1979年 大阪生まれ。2003年から現代美術家として東京を拠点に活動。香港、台湾、シンガポール、ニューヨークなど世界各地で作品を発表し、数々の国際アートフェアや個展で注目を集めている。海外で活動するにあたりヨーロッパクリスティーズオークションの会長も勤め、美術史家でもあるハズブルク公ゲザ氏とも親交が深くニューヨークでの活動支援も受けている。

時間 11:00～12:00、13:00～14:00、
15:00～16:00 対象者 小学生以上

ワークショップ 参加人数合計50名
11時～参加者人数 0名
13時～参加者人数24名(内6名特別支援学校児童)
15時～参加者人数26名(内8名特別支援学校児童)



6. 実施報告 ③ コロナ対策

新型コロナウイルス感染拡大予防策として、今回のイベントでは参加スタッフ・ゲスト100名（内本プロジェクトスタッフ15名）には、事前PCR検査を実施。当日のプログラム参加者200名（内本プロジェクトスタッフ50名）には、抗体検査を実施しました。

また、入口ゲートでは体表温の測定での高体温者のスクリーニング・手の消毒・次亜塩素酸水の噴霧・感染管理アプリ導入により、安心安全なイベントの運営を徹底しました。



安心・安全にお楽しみいただくための6つの対策



1 スタッフの事前PCR検査、及び医師監督のもと当日のプログラム参加者の抗体検査



3 入口ゲートでの消毒（次亜塩素酸水）



2 入口ゲートでのAI熱感知システムによる体温検査・マスクチェック



4 参加者へフェイスシールド・マスクの配布

5 プログラムブース内での消毒

6 感染アプリ管理システムの導入

7. 事業の成果と課題 ①

本事業の実施により各地域の企業、学校、スポーツクラブなどに、アスリートや障害者スポーツ団体の紹介ができ、イベント以外でも障害者スポーツの普及や障害者がスポーツと関われる環境づくりができました。また、多くの方たちが障害者スポーツや障害者の方たちと触れ合うことによりノーマライゼーションの気持ちを拡大させることができました。併せて、特別支援学校児童・生徒の方たちが一般の方たちとスポーツ・芸術分野のプログラムに参加いただき、スポーツ・芸術を通して一般の子供たちとの交流の場ができました。また、一流のアーティストやアスリートに教えてもらうことにより、それぞれの子供たちが持つ才能を発見できたり、社会に溶け込む楽しさを実感できる場の提供もできました。

加えて、このような活動がメディアに露出することにより、特別支援学校児童・生徒の方たちやその父兄の方々が、よりいっそう社会に参加する意欲が昂まるものになりました。

メディアの露出

TOSテレビ大分
11月7日 ハロー大分



OBS大分放送
11月7日 OBS ニュース



TOKYO MXテレビ
2021年1月1日
「News TOKYO FLAG2021」



新聞
10月12日 ハロー大分



大分合同新聞



読売新聞

朝日新聞

テレビスポット
10月28日～11月7日



WEB
10月28日～11月7日
海外メディア
「JAPAN TODAY」



News from Japan and the world...
Tenbo...
The...
The...
The...



WEB			換算金額 (円)
INNS ニュース	2020/11/8	障害者と健常者が一緒に「快汗」大分市でスポーツ・オブ・ハート	1,287,149
読売新聞オンライン	2020/11/8	障害の垣根越え「快汗」大分市スポーツオブハート	685,200
OAB 大分朝日放送	2020/12/11	障がい者と健常者 垣根を越えた芸術作品	30,000
その他			25,572,025

TV			換算金額 (円)
TOSテレビ大分	2020/11/7	「ハロー大分」	2,400,000
TOSテレビ大分	2020/11/7	「TOSニュース」	240,000
OBS大分放送	2020/11/7	「OBSニュース」	240,000
TOKYO MXテレビ	2021/1/1	「News TOKYO FLAG2021」	16,800,000

新聞			換算金額 (円)
朝日新聞	2020/10/28	スポーツオブハート開催白紙が一転 大分で来月実施	77,550
大分合同新聞	2020/11/8	障害の垣根越え「快汗」大分市スポーツオブハート	671,840
読売新聞	2020/11/8	障害の垣根越えスポーツ 大分で祭典 駅伝や教室で交流	153,600
大分合同新聞	2020/12/16	障害のある子と描いた絵 大分市へ 現代美術家 鎌谷徹太郎	395,200

その他広告			換算金額 (円)
スポットCM	2020/10/28～11/7	TOS/OAB/OBSにて放送	2,000,000
大分合同新聞広告	2021/1/3	スポーツオブハート広告	265,000

7. 事業の成果と課題 ②

アートワーク作品 贈呈式

今回のアートワークショップでアーティストの鎌谷徹太郎さんと特別支援学校の生徒や健常者の子供達と一緒に作成した作品を大分市に寄贈することとなり大分市役所1階に展示されることとなりました。

【大分】現代美術家の鎌谷徹太郎さん(41)は東京都と障害のある子どもたちが共同で制作した絵画が大分市に寄贈された。11月7日に市内であった障害者と健常者が交流するイベント「スポーツ・オブ・ハート」

2020年11月大分の関連事業として取り組んだ。絵画の題名は「エクセツ シアテコレーション」。共生をテーマにしているという。サイズは縦横、イベント時に県内の特別支援学校に通う約30人の児童、生徒

と作り、鎌谷さんが仕上げた。今月1日に関係者が市役所を訪れ、佐藤新一郎市長に贈った。今後、市役所内で多数の市民が鑑賞できる場所に飾る。(基本柱)

現代美術の鎌谷さん



大分に贈られた絵画「大分市役所」



2020年12月11日大分市役所市長室での贈呈式



絵画を贈呈した鎌谷徹太郎さん(右から2人目)とスポーツ・オブ・ハートの関係者ら

大分合同新聞

8. 今後の方向性について

<スポーツオブハート>大分開催は大分市との共催で本事業を行っており、大分市は大分市スポーツ振興課と障がい者福祉課と連携を取り地域での特別支援学校、地域型総合スポーツクラブ、障害者スポーツ団体の参加・協力が実現しました。

佐藤樹一郎大分市長は、大分市を東京オリンピック・パラリンピックに向けたさらなる機運の醸成とその後のレガシーを生かして、一層、障害者スポーツ振興やノーマライゼーションの推進、市民参加の促進を図っていくことが重要と考えており今回はコロナ禍ということもありましたが、小規模でも火を絶やさずに継続していく結論となった経緯もあり、特別支援学校の児童や生徒たちにとって良い環境整備と交流の場の促進したと確信しております。

今後は今回の本事業を機に、地域の中で特別支援学校、地域型総合スポーツクラブ、障害者スポーツ団体や音楽やアートなどの芸術活動の団体とも連携を促進し、自分の個性を活かした生きがいの発見や、社会参加がしやすい環境を創り上げ、それを継続して行っていくことが大切なことと考えます。

障がいのある子もない子も、スポーツや芸術と一緒に笑顔で楽しんでいる姿を見ると本イベントを継続してやってきて良かったと心から思います。

子供達は純粹です。子供の頃からこのような機会を多く作ることで、その子供達が大人になる頃には、ノーマライゼーション社会が実現していると確信します。